

北海道の脳性麻痺児・者の整形外科，リハビリテーションに関する診療録を用いた疫学調査

当講座では，北海道の脳性麻痺児・者の整形外科，リハビリテーションに関する診療録を用いた疫学調査を実施しています。

研究の目的・意義：脳性麻痺児・者の二次障害である股関節脱臼，脊柱側弯，骨盤傾斜，歩行障害の発生率と進行機序を後方視的に調査し，粗大運動レベルや麻痺種類や分布，性比，居住市区町村などによる進行の程度の違いや特徴などを明らかにすることによって，整形外科，リハビリテーション介入に役立つ。

研究の方法：北海道立子ども総合医療・療育センターの電子カルテから，1994年1月1日から2011年12月31日の間に出生した脳性麻痺児・者の整形外科とリハビリテーションの情報を後方視的に収集し解析する。

研究機関名：札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座

この研究は，札幌医科大学倫理委員会の承認を得ており，個人情報保護には十分留意されております。

解析に用いるデータは，個人が特定されることはありません。

何卒，この調査研究にご理解・ご協力をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら，下記連絡先までご一報ください。

連絡先 札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座

教授 大西浩文

助教 樋室伸顕

TEL 011-611-2111 (内線 2740, 2766)

FAX 011-641-8101